

三翠化学会

(題字は稲川先生)
第69号

令和2年11月1日 発行
三翠化学会
津市栗真町屋町1577
三重大学大学院生物資源学研究所内
電話 / (059) 232-1211
振替 / 00890-1-59345
印刷 / 株式会社 あるむ
TEL(052)332-0861 大8 長谷川 正一

三翠化学会 総会

昨年は台風で中止、今年はコロナで延期

三翠化学会 同窓会諸氏
におかれましては、ますます
ご健勝で、ご活躍のこと
とお喜び申し上げます。常
日頃は、同窓会活動にご理
解、ご協力を賜りまして心
から御礼申し上げます。

今年は中国武漢に端を発
した新型コロナウイルス感
染症の世界的なパンデミック
になり、大変なことに
なっています。同窓生の中
に感染されたり、不幸にし
てお亡くなりになられた方
がおられないことを心から
祈っています。

また、現役の方々、四
月七日の緊急事態宣言後、
非常に窮屈な生活をおくら
れ、ご苦労されたことと思
います。宣言が解除された
今年も本会総会を開催できな
くなりました。例年総会にお届けする際に、総
会出欠のご連絡をいただく返信はがきを同封し
ておりましたが、今回は同封いたしません。こ
のがき、総会出欠の返信のみではなく会員の
皆様の近況、転居等の異動情報などもお教え
いただくツールとなっていましたので、今回は
別の手段で情報をお持ちの方へ、下
記のメールアドレスまでご連絡ください。事務局
にて最新情報への更新を行う目的に使用致し
ます。(書式は特に定めません)

三翠化学会事務局よりお願い

つきましては、異動情報をお持ちの方は、下
記のメールアドレスまでご連絡ください。事務局
にて最新情報への更新を行う目的に使用致し
ます。(書式は特に定めません)

●異動情報ご連絡用メールアドレス：
sns1kgk@gmail.com (sのあとの1は、数字
の1です)

副会長 (会計担当) 木村幸信

とは言え、今までと違う日
常生活を強いられ、国民全
員が厳しい生活になりまし
た。これから先のことを考
え、このコロナウイルスの感
染予防だけではなく、経済
も含めて大変憂鬱になつて
きます。しかし、国民全員
が頑張つて耐えて行かねば
ならない困難だと思つてい
ます。

このような状況から、親
戚三翠同窓会は、今年の開
催を一年間延期することが
決定されました。例年であ
れば今年の三翠化学会は、
三翠同窓会の総会日に合わ
せ総会を開催し、懇親会も
三翠会主催の懇親会に参加
することになっていました
が、右にならえて三翠化学
会の総会も一年延期するこ
とになっていました。そし

とになりました。

昨年は超大型台風一九号
の来襲で、全て準備してい
た同窓会(総会)を中止と
決め、その連絡を大慌てで
行いました。幸い総会とし
ては特別な議案も無く、役
員一同にはメールで承認を
いただき、会員諸氏には三
翠化学会ホームページで会
務報告、会計報告をいたし
ました。結果的に台風、コ
ロナ禍で二年続けて総会を
開催することが出来なくな
りました。このような事態
は、三翠化学会創設以来初
めてのことです。昨年の同
窓会総会には、一六年ぶり
に新しく入会された同窓生
が、同窓会に参加されるこ
とになっていました。そし

とここで、この半年あま
りの間に、三人の先生がお
亡くなりになりました。昨
年の十一月二十五日に奈良
先生(一〇〇歳)、十二月
二六日に嶋林先生(九〇
歳)、今年になり五月二七
日に梅林先生(八八歳)と
続きました。三先生とも長
寿を全うされましたが、教
壇で講義されていた姿が目
に浮かび、また色々な思い
出が頭をめぐり、そして昭
和も農学部も遠くになるよ
うで寂しい限りです。三先
生のご冥福を心からお祈り
したいと思います。

今年度の会報には、同窓会、
総会のニュースは皆無とな
りました。来年こそはコロ
ナの終息を祈り、同窓会が
開催できることを期待し、
そして、お元気な同窓生諸
氏にお会い出来ることを念
じて止みません。

嶋林先生を偲ぶ

三重大大学院生物資源学研究所 教授 奥村克純

三重大で嶋林先生にご
指導いただいた学生、教員、
職員一同を代表して、謹ん
でお別れの言葉を申し上げます。
昨年三月に研究室の同門
会で先生の卒寿をお祝いし
ました際にも、いつものお
元気な姿でご臨席賜り、そ
の際に先生とお約束し、今
年もお目にかかれるのを業
しみにしておりました。令
和元年二月二六日にいた
だいた突然の訃報は信じら
れず、九〇歳を数えられる
も、私には、未だに、背筋
がのび、キリッとしたお姿
で颯爽と歩かれる先生のお
元気なお姿しか浮かびませ
ん。

嶋林先生は、昭和三十一年
四月に三重大に助手(農
芸化学科生物化学講座)と
して赴任され、昭和四九年
に教授、その後評議員な
ど、平成五年のご定年で名
誉教授とされるまで三七
年の長きにわたり、重鎮とし
て、三重大、特に農学部、
農芸化学科、後の生物資源
学部の発展に尽力されまし
た。農学部と水産学部の統
合の際には、将来問題検討
委員会委員長として、その
重責を果たされました。
教育研究面では、日本農
芸化学会から昭和四五年に
「鶏卵孵化時の生化学的研
究」に対して農芸化学奨励
賞、平成二二年に中部支部
功労賞を受賞、さらには永
年の教育研究における功績
が認められ平成二六年に、
栄えある瑞宝中綬章を受
章されました。

一方、先生は、同窓会の
設立にも尽力され、後に三
翠化学会となる農学部農芸
化学科同窓会の初代会長と
して、本会の発展に多大な
貢献をされました。また、
三重大硬式野球部の部長
を三三年にわたって務めら
れ、その間、三度の全国大
会出場を果たされました。
先生のご功績を挙げるには
スペースが足りません。
私が今あるのは嶋林先生
のおかげで、この場を借り
て心よりお礼申し上げます。
私がお手として採用し
ていただき、着任時に、「助
手として何をお手伝いさせ
ていただきますようか?」
と伺いましたところ、先生
は即座に「君は君で自分の
柱を立てなさい」と言われ
ました。本来喜ぶべきこと

ろ、未熟者の私には荷が重
く、随分苦勞をしております
でしたが、「こんな研究はど
うでしょう?」と相談申し
上げると、そのたびごとに
「そやなあ、おもしろいな
あ」とだけ言われ、決して
批判やコメントをされませ
んでした。若者には主体的
に自由をやらせ、自ら力を
つけさせる、そして伸ばし
てやろうというのが先生の
お考えであったと後に気づ
きました。
いつもにこやかに、それ
でいて威厳があり、どっし
りととされている様子か
ら、安心感を与えていただ
きました。先生のご指導を
受けた者は、皆同様のこと
を感じていたと思います。
おかげで、数多くの後進が
嶋林先生の薫陶を受け育つ
ております。その一つの証
として、嶋林先生が参加
される会には、先生を慕い、
いつも多数の門下生が集ま
りましたし、通夜、葬儀に
も多数の関係者、弟子が駆
けつけました。また、あち
こから「嶋林先生を偲ぶ
会」をとの声があがり、新
型コロナ感染症拡大防止対
策により、中止となつてし
まいましたが、今年三月
の春分の日同門会にあわ
せて行うべく計画をしてお
りましたことも申し添えま
す。
先生が礎を築かれた、同
窓会の三翠化学会、現在
私が引き継いでいます分子
細胞生物学研究室および硬
式野球部のことについて
は、特に気にかけていただ
きました。優秀な後進が
さらに発展させますことを
確約します。
嶋林先生のご指導にたい
して、代表して感謝申し上
げ、お別れの言葉とさせて
いただきます。

大6クラス会



6回生(昭和33年卒業)は令和元年11月11日静岡県浜名湖の
ほとり館山寺温泉・ホテル九重でクラス会を開催しました。今回の出
席者は8名(卒業生29名、物故者11名)でした。長年出席されて
いた常連の人達の欠席は残念でした。浜松駅よりバスにて会場に到着
後、温泉に入浴し、懇親会に移りました。その後一室に集まり学生時
代の思い出等を語り合いました。今回は石川先生について話題が集中
しました。

翌日は好天に恵まれ奥浜名湖めぐりをしました。東名高速道路の橋
下近くまで行き、国内有数の汽水湖は波静かで快適でした。その後館
山寺温泉の由来にもなった館山寺を参拝しました。このお寺は平安時
代の弘仁元年(810年)空海によって開創された由緒あるお寺だそう
です。浜松駅に移り昼食後再会を約して解散しました。

今回も幹事を引き受けてくれた加納氏に謝意を表します。
出席者:加納、川内、杉本、西沢、福田、藤本、松尾、吉野の各氏
(吉野)

還暦クラス会

(大30回)



二〇二〇年一月一日、
一二日に湯の山温泉希望荘
にて、農化30期クラス会兼
還暦祝賀会を開催した。新
型コロナウイルスの感染拡
大前で、まだ気にせずに宴
会ができ、諸事情のある中、
有志一三名が集まり、今か
ら思えば至極幸せなひと時
を過ごすことができた。希
望荘には、本館と新館をつ
なぐケープルカーがあり、
そこからは四日市の風景と
な実験レポートのドッキリ
公開(嶋田先生が所持して
いたもの)、三翠応援歌の
大合唱と、まるでタイムス
リップしたかのような時を
過ごすことができた。残念
ながら恩師の訃報も聞かれ
る中、ご冥福を祈りつつ、
暦が一巡した我々も第二の
人生を謳歌できればと願う
今日この頃である。
(幹事 本多芳孝)

夜景が綺麗に
見えた。卒業
以来の面々も
あり、風体も
変わり、誰
だつたかなと
見合う場面
も、とはいえ
やはり若い頃
を共に過ごし
たクラスメー
ト、次から次
へと当時のエ
ピソードで盛
り上がった。
若かりし写真
付きの受験票
(担任だった
熊澤先生が所
持していたも
の)、怪しげ

第二一回三翠化学会 関西支部交流会報告



交流会に際し、これまでご講演を引き受けてくださった講師の皆様方の多大なご協力があつたこと、心より御礼申し上げます。

第一部は関西支部総会で開かれた三翠化学会西支部は、平成一三年から

昭和五九年に第一回総会が開催された三翠化学会西支部は、平成一三年から

今、私は

高校教員一筋

岸田吾一 (大36)

会員の皆様こんにちは。36期土壌にいました。大学を卒業して早三年、昭和最後の卒業生です。



私は大学時代に野球部に所属していました。実は、野球部に入部する前に三日



動についてご講演いただきました。その中で、「三重大学生物資源学部は、農林水産系学部として、SDG



で、DNAの折りたたみの緩み方の違い(クロマチンの修飾)で遺伝子のスイッチ

の期間に仕事なしで給料がもらえる。しかも、野球部の顧問になれば



から、この先三年(定年は五五歳と聞いていた)の間に一度くらいは甲子園へ行くのと思ひ、選

教師になるきつかけは野球部の先輩に「教師は夏休みがあり、こ



を熱唱し、来年の再会を約して交流会はお開きとなり

大北明(大16)、岡田啓(大17)、松本孝(大19)、伊藤

に三翠化学会の初代会長で、また現在の関西支部の基礎を築かれた、嶋林幸英

新たにしております。先生のご冥福をお祈り申し上げます。

故奈良省三先生への思い出

大西英雄 (大16)

先生からは卒業以来、墨で書かれたお元気な年賀状を長年いただいていた

退官されました。この間、四二年四月、農産製造学講座、奈良先生のもとで学ぶ

先生は、昭和一八年に京都帝国大学農学部を卒業

先生との思い出ですが、卒業以来すでに半世紀を過ぎており、もはや詳細なことを思い出すことは出来ません

就職する会社を決めるのは、四二年の五月ごろだったでしょうが、当時は講座宛に各会社から求人案が

梅林先生を偲んで

小畑 仁 (大15)

梅林正直先生が他界されました。いつもお元気では

ん。その研究手段として、当時農学分野ではほとんど知られていなかったガスクロマトグラフィーを導入され、技術習得のため工業技術研究所に送られたと伺ったことがあります。その後、ご母堂の出身地でかねてよりご縁のあった三重県にある、唯一の国立大学である三重大学に移られ、その後の先生のお姿や「土壤学」の講義は、皆様方も覚えてお

究手法である原子吸光分析機を用いるという、当時としては画期的な手法を編み出されました。クロマトと発光分析機器を直結する手法は、その後多くの研究開発が行われ世に広まりました。その出発点が(たしか)アメリカでの国際会議での発表だったことはあまり知られていません。研究指導も授業の試験もとにかく厳しい先生でした。まさに昭和初期の厳父の趣でした。ホウレンソウ(報・連・相)が足りんと、雷を落とされた方も多かったはずですが、後で社会に出て、身につけた習慣として役に立ったのではないのでしょうか。一方、とても難しいクイズを出されて、正解できた者にはうなぎゼン

その開始と継続には大変な努力をされ、電話で日、英、タイ語を駆使されて各方面と交渉しておられるお姿には、鬼気迫るものがありました。政治を巻き込んでのコーディネーターとしての手腕も並外れておられました。ご退官前後より、町屋海岸に、台風で失われた松林を再生するプロジェクトを始められ、これはその後小学校の記念行事となりしばらく続きました。『松林先生、例の梅林の件ですが』と言われるよと笑っておられたのを思い出します。退官された後、以前より深いお付き合いのあったタイに毎年半年間滞在され、麻薬の原料となるケレンに代わる換金作物としてウメ栽培を指導され、現地の方々から深い感謝の念を集めておられました。その後気温の高い低地では、タイプーチン大統領も絶賛した「東洋美人」です。グサイ名前ですが、けっこう美酒なのです。山口県は瀬戸内だけじゃありません。根岸のうどん屋で初めて飲んだ時、すごく旨くて、それ以来ときどき購入して飲っています。

このように書いています。酒(松藤など)も好みます。梅林先生以外も焼酎(三岳、明い農村など)、泡盛(古酒、松藤など)も好みます。

のスタートも言われるマナオ(サ抜き)の「まさなお」だと言っておられました。言葉遊びもお好きでした。言葉を遊びもお好きでした。言葉を遊びもお好きでした。言葉を遊びもお好きでした。

を思い出します。これらの行いは、外務大臣表彰、三重大学学長特別表彰第一号として公に認められ、世界を変える一〇〇人の日本人として、テレビ東京系で全国放送されたりもしました。これらの活動に加え、日タイ友好をさらに深めるため、タイで七夕の行事を行い、さらに桜の植樹も始められました。タイ政府からタイ国友好賞が贈られています。チェンマイ大学をはじめ、タイ国四大学、国内七大学の学長等の推薦を受け、ノーベル平和賞候補にもなられました。平成二五年度に瑞宝中綬章を受章されました。大学教官の枠を大きく超えた存在であり、人生を人の何倍も楽しまれていたようにお見受けしていました。

が、五月に敗血症により逝去されました。昨年奥様を亡くされご心労がたまったことも考えられます。コロナ禍による移動自粛の折から、葬儀は近親者とご自身に近い者のみでしめやかに執り行われました。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

はたまたピカピカ光るキノコに会う楽しみもある。たまにはシカが飛び出してくる。姿は見えないがイノシシらしき音と二オイにはさすがに身構えた。徳之島では連日、蜷局(とくら)を巻いたハブ(と言っても、ヒメハブだ)が出迎えてくれた。ハブより怖いもの、それはきつとヒトだろうと想像するが深夜の山野で出くわすことはなかった。ホタルが昇じてDNAバーコーディングに出会った。嶋林先生から一九六八年頃、核酸のご指導を受けたが、浦島太郎が眺めるに……集積回路とソフトウェアの加勢は百人力だ……。

終わりに、私が知多半島で見た光る生きものは、ヒメボタル、ヘイケボタル、クロマダボタル、オバボタル、ウミボタル、ヤコウチュウ、ヒカリウミウシ、イソミミズ、菌糸、そして何と、自宅の庭でホタルミミズを。身近な発光生物に乾杯!



今、私は

趣味のお酒

平田友良 (大20)

二〇〇回生の平田と申します。昨年五月から令和の時代となりまして、昭和生まれの私自身も頭も体もともに老いを身近に感じている今日この頃です。ところで最近のマイブームは千葉の地酒です。

昔から全国の美味しい日本酒を楽しむのが好きでした。そんな中に入りはしていません。知り合いの評判とか、近所の酒屋のお薦めを試している程度でした。それでも結構いろいろ銘酒を飲むことが出てきました。ただ、千葉県の地酒はあまり飲む機会がなくて、県内をドライブの途中に酒屋があれば立ち寄り、酒蔵を見学したり、お土産として購入する程度だったのです。その数々を知っていました。

も揃えているのを小さなグラスで試飲するのは。飲み比べてみると、それぞれの特徴がよくわかります。一つの酒造元でも数種類、それは吟醸酒だったり大吟醸や純米酒、生酒、原酒など何種類もありますから、参加すれば一度に沢山飲み比べが出来ます。気を付けたいと酔っぱらうのでは?と思うくらいです。もう一つの特徴は、旬のお酒があることです。しぼりたての花見酒、夏の酒、ひやおろしなどです。一通り試飲したら、好みと値段と相談しながら購入します。

千葉県産酒の中で一応自分好みの酒蔵を紹介しようと鍋店(仁勇)、吉野(腰古井)、東灘(鳴海)、寒菊(寒菊)のお酒です。リピーターとして近所の酒屋で購入しています。もちろんその他酒でも美味しかったのが沢山ありました。

千葉県産酒以外でちょっと紹介しておきたいのは、

子供の頃、岐阜県は実家の裏庭に置いた野天の風呂桶に浸かりながら蛍を見た記憶がある。ところがそれから数十年間、虫や魚にとんと縁がない。それでも、麻薬の原料となるケレンに代わる換金作物としてウメ栽培を指導され、現地の方々から深い感謝の念を集めておられました。その後気温の高い低地では、タイプーチン大統領も絶賛した「東洋美人」です。グサイ名前ですが、けっこう美酒なのです。山口県は瀬戸内だけじゃありません。根岸のうどん屋で初めて飲んだ時、すごく旨くて、それ以来ときどき購入して飲っています。

情報にチラホラ。というか、何者かに導かれたように足が勝手に運んだ市内の閑静な住宅街の一角にある雑木林で二〇〇七年六月、雨間の間に一人で立つ私はヒメボタルとの遭遇に少年の如く興奮した。時折落下する種実のガサソ音が静かさを増幅してくれる。さて、捕虫網を手にした者が全国に遺伝子をばら撒いて熱心に採れていると嘆く人々がいても、流れは容易に変わらないということも分かった。

こんな訳で、ホタルの生態屋らしき相棒に同行して伊勢湾の篠島・神島を皮切りに、南は波照間、西は与那国。北へ向かって岩崎対馬から佐渡。内陸では折爪岳から十和田を訪れた。ただ、私としては半ば観光。と言っても、レンタカー内で仮眠しながらの終夜調査や雨中のテント泊など何でもあり。そこで日本中どこにも暗闇がないことに気付かされた。鬱蒼とした木立のトンネルを除き朔日でも懐中電灯なしで歩ける。遠くの街明かりが雲に反射しているのだろうか。でも、都会では経験できないドキッとするような満天の星にはつい声をあげてしま

はたまたピカピカ光るキノコに会う楽しみもある。たまにはシカが飛び出してくる。姿は見えないがイノシシらしき音と二オイにはさすがに身構えた。徳之島では連日、蜷局(とくら)を巻いたハブ(と言っても、ヒメハブだ)が出迎えてくれた。ハブより怖いもの、それはきつとヒトだろうと想像するが深夜の山野で出くわすことはなかった。ホタルが昇じてDNAバーコーディングに出会った。嶋林先生から一九六八年頃、核酸のご指導を受けたが、浦島太郎が眺めるに……集積回路とソフトウェアの加勢は百人力だ……。

終わりに、私が知多半島で見た光る生きものは、ヒメボタル、ヘイケボタル、クロマダボタル、オバボタル、ウミボタル、ヤコウチュウ、ヒカリウミウシ、イソミミズ、菌糸、そして何と、自宅の庭でホタルミミズを。身近な発光生物に乾杯!

千葉県の松戸市に住んでいます。松戸市観光協会会館内で二ヶ月毎に行っている千葉県産酒フェアに出会ったのがマイブームのきっかけです。以前は「本場ではない千葉県の日本酒なんて」と思っていました。意外にも県内に四〇近くも酒蔵があるので

も揃えているのを小さなグラスで試飲するのは。飲み比べてみると、それぞれの特徴がよくわかります。一つの酒造元でも数種類、それは吟醸酒だったり大吟醸や純米酒、生酒、原酒など何種類もありますから、参加すれば一度に沢山飲み比べが出来ます。気を付けたいと酔っぱらうのでは?と思うくらいです。もう一つの特徴は、旬のお酒があることです。しぼりたての花見酒、夏の酒、ひやおろしなどです。一通り試飲したら、好みと値段と相談しながら購入します。

千葉県産酒の中で一応自分好みの酒蔵を紹介しようと鍋店(仁勇)、吉野(腰古井)、東灘(鳴海)、寒菊(寒菊)のお酒です。リピーターとして近所の酒屋で購入しています。もちろんその他酒でも美味しかったのが沢山ありました。

千葉県産酒以外でちょっと紹介しておきたいのは、

子供の頃、岐阜県は実家の裏庭に置いた野天の風呂桶に浸かりながら蛍を見た記憶がある。ところがそれから数十年間、虫や魚にとんと縁がない。それでも、麻薬の原料となるケレンに代わる換金作物としてウメ栽培を指導され、現地の方々から深い感謝の念を集めておられました。その後気温の高い低地では、タイプーチン大統領も絶賛した「東洋美人」です。グサイ名前ですが、けっこう美酒なのです。山口県は瀬戸内だけじゃありません。根岸のうどん屋で初めて飲んだ時、すごく旨くて、それ以来ときどき購入して飲っています。

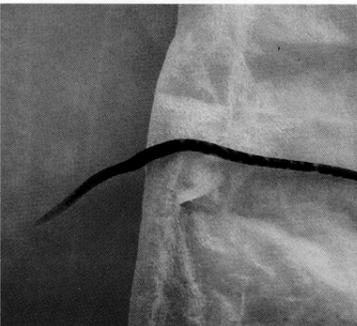
情報にチラホラ。というか、何者かに導かれたように足が勝手に運んだ市内の閑静な住宅街の一角にある雑木林で二〇〇七年六月、雨間の間に一人で立つ私はヒメボタルとの遭遇に少年の如く興奮した。時折落下する種実のガサソ音が静かさを増幅してくれる。さて、捕虫網を手にした者が全国に遺伝子をばら撒いて熱心に採れていると嘆く人々がいても、流れは容易に変わらないということも分かった。

こんな訳で、ホタルの生態屋らしき相棒に同行して伊勢湾の篠島・神島を皮切りに、南は波照間、西は与那国。北へ向かって岩崎対馬から佐渡。内陸では折爪岳から十和田を訪れた。ただ、私としては半ば観光。と言っても、レンタカー内で仮眠しながらの終夜調査や雨中のテント泊など何でもあり。そこで日本中どこにも暗闇がないことに気付かされた。鬱蒼とした木立のトンネルを除き朔日でも懐中電灯なしで歩ける。遠くの街明かりが雲に反射しているのだろうか。でも、都会では経験できないドキッとするような満天の星にはつい声をあげてしま

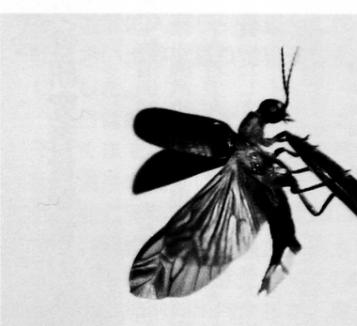
はたまたピカピカ光るキノコに会う楽しみもある。たまにはシカが飛び出してくる。姿は見えないがイノシシらしき音と二オイにはさすがに身構えた。徳之島では連日、蜷局(とくら)を巻いたハブ(と言っても、ヒメハブだ)が出迎えてくれた。ハブより怖いもの、それはきつとヒトだろうと想像するが深夜の山野で出くわすことはなかった。ホタルが昇じてDNAバーコーディングに出会った。嶋林先生から一九六八年頃、核酸のご指導を受けたが、浦島太郎が眺めるに……集積回路とソフトウェアの加勢は百人力だ……。

終わりに、私が知多半島で見た光る生きものは、ヒメボタル、ヘイケボタル、クロマダボタル、オバボタル、ウミボタル、ヤコウチュウ、ヒカリウミウシ、イソミミズ、菌糸、そして何と、自宅の庭でホタルミミズを。身近な発光生物に乾杯!

終わりに、私が知多半島で見た光る生きものは、ヒメボタル、ヘイケボタル、クロマダボタル、オバボタル、ウミボタル、ヤコウチュウ、ヒカリウミウシ、イソミミズ、菌糸、そして何と、自宅の庭でホタルミミズを。身近な発光生物に乾杯!



ホタルミミズ (体長約4cm)



ヒメボタル (体長約8mm)

蛍と遊ぶ

平田秀彦 (大17)

今、私は

日陰のビジネス

浅井以和夫 (大 27)

三重大学農学部農芸化学コースを卒業し、食品添加物に従事して早や四〇年近くになろうとしています。日頃、みなさんに、あまり馴染みのない食品添加物について感じた事と私の思いをお話ししようと思えます。

添加物への消費者イメージはネガティブなものが多いと思います。世の中に「無添加」、「ゼロ」、「フリー」を標榜した食品が売れていることもその裏づけです。その原因は、過去の添加物による健康被害とその伝承が根源だと思われまます。戦前の日本では、染料や甘味料や保存料が勝手に自由に食品に使用されたた

め、多くの健康被害が出ていました。当時は被害が出るとその物質を禁止するという管理であり、添加物の法規制が本格的に始まったのは戦後の昭和三二年になります。当時は食糧難でもあり、保存料、着色料、甘味料(砂糖は高級品)などが重要な添加物でした。その後、経済復興と共に食への安全意識が高まると安全性試験も進化した、昭和四五年には甘味料のチクロやズルチンが禁止されました。こういった歴史的事実から、親は子に「添加物は怖いもの」と教えます。学校でも教員が「食べるな」と教育をします。これらの伝承の仕組によって、子々

三重大学純米大吟醸梅酒「紅翠」

いなべ市に住む本学人文学部 OB より、いなべ市の農業公園に 4500 本の梅の木があるが、その梅の実を活用して、地元の名産品を作ることができないかと話をいただいた。当時、三重大学梅酒は、梅酒の全国品評会で全国二位の評価をいただいたところで、早速、三重大学の酒造りをして寒紅梅酒造さんと共に現地での調査に入った。一方、いなべ市に隣接する菟野町からも菟野町の特産である「関取米」を利用できないかと話をいただいた。関取米は、明治時代には東京で人気の米であり、現在でも高級寿司店で使用されている食用米であったが、地元の酒造メーカーでは日本酒を作った実績もあったので、この二つの自治体の名産品を作るという目標で、産学官が一体となって新しい三重大学梅酒の開発が始まった。学生に農業公園に梅の実を取りにいってもらったが、そも



そも観賞用に剪定されているので、梅の実の採取は、思ったよりも大変だった。関取米は、溶けがよく、アルコールが高めに出る日本酒ができ、日本酒ベースの梅酒を作るには好都合でもあった。こうして試作を重ね、ネーミングやラベルを公募により展開し、マーケティングなど人文学部の学生や OB にも尽力をいただき、梅の「紅」と三翠の「翠」を名前に冠した、三重大学純米大吟醸梅酒「紅翠」が完成した。

ネット購入できます。
<http://www.kankoubai.com/kousui/>
 田修一 (大 30)

孫々へとネガティブ伝説が連綿と続く構造になっていくのが現実だと思います。現代では、多くの科学論文で添加物の安全性が担保されています。しかしながら、大過剰の投与実験によるネガティブな記述がある、その部分だけが抜粋され書籍や雑誌の記事となります。問題がないと言う記事は読まれません。不安を煽る(消費者の共感を呼ぶ)記事は興味を持って読まれます。消費者は「やっぱり」となるわけです。日々摂取する栄養素に適量があるように、添加物でも薬でも食品でも適量と言うものが存在します。過剰摂取の影響を LD50 で見てみますと、砂糖は約 2kg、ビタミンCは約 1kg、クエン酸は約 500g です。どれも生命維持に適量が必要ですが過剰摂取では害

が生じます。添加物も同様に限らず、世の中の全てのパラチームの LD50 は約 300g (甘味換算で砂糖の約 60g に相当) ですが、とても大量摂取ができるものではないです。添加物は LD50 が無い(安全過ぎる)ものは無制限に使用できます。LD50 が決められるものは、ADI を設定し、そこに安全係数として例えば百分の一を乗じた量が使用基準(食品への添加上限量)として法律で設定されています。食品に使用される添加物は、使用基準のさらに百分の一など実際に摂取する量はとてつもなく少ないのが実態です。おそらく、一般的な食品素材の方がはるかに健康へのリスクは高いのではと思われまます。

創薬化学教育研究分野の増田と申します。このたび、日本農芸化学会の農芸化学奨励賞を受賞いたしました。受賞題目は、「天然由来ペプチドの活性発現に係わる三次元構造の解明と応用」です。受賞研究の内容を簡単に紹介しますと、天然由来ペプチドの生物活性発現に重要な三次元構造

の話をしますが、食品添加物に限らず、世の中の全てのものにゼロリスクは存在しない事やハザードとリスクの違いなどを、一般教養として教育することがとても重要なのだと思います。これがこの業界にいて感じたことで、教育機関に望むことでもあります。パルクラス(スイス人医師...一四九三二一五四)の言葉です。

農芸化学奨励賞受賞の挨拶

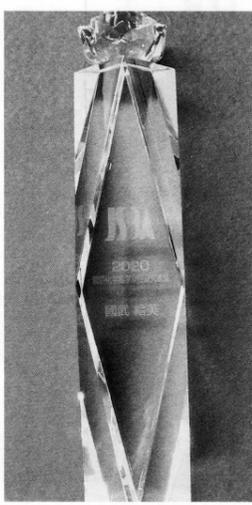
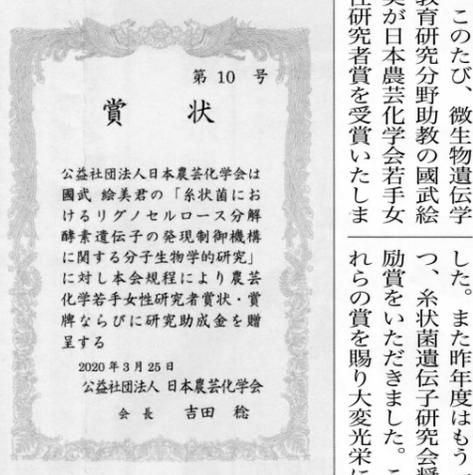
増田 裕一

(タンパク質)構造や分子内水素結合)を解明し、これらの構造を制御する薬剤設計戦略を提案・実践しました。これまでお世話になった先生方ならびに、教育・研究で多大なご支援を頂いている生理活性化学教育研究分野・稲垣穂教授に厚く御礼申し上げます。

このたび、微生物遺伝学教育研究分野助成の國武総美が日本農芸化学会若手女性研究者賞を受賞いたしました。このたび、微生物遺伝学教育研究分野助成の國武総美が日本農芸化学会若手女性研究者賞を受賞いたしました。このたび、微生物遺伝学教育研究分野助成の國武総美が日本農芸化学会若手女性研究者賞を受賞いたしました。

農芸化学会 若手女性研究者賞受賞の挨拶

國武 総美



受賞内容は糸状菌におけるリグノセルロース分解酵素... 素遣伝子の発現制御機構に関する研究です。コウジカビを対象として、バイオマスを分解酵素高生産株の育種を目標に遺伝子の転写誘導・抑制メカニズムの解析を行っています。今後も研究に邁進して参りますのでどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

皆様からのご厚志は随時承っています。金額の多寡にかかわらず喜んで頂戴いたします。

- ・郵便局よりの振込には、表紙題字の下に記載の振替口座番号宛お振込みください。
- ・銀行やコンビニ ATM 等からでも振込は可能です。

その際は、使用可能な銀行キャッシュカードをご使用いただき、
銀行名：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900 預金種目：当座
店名：〇八九店(ゼロハチキュウ店) 口座番号：0059345

にて振込手続きをお願いします(振込手数料は当方負担とさせていただきますので手数料分を差し引いてお振込ください)。 会計担当：木村 (大 25 回)

令和元年度 卒業生就職先

- | | |
|--------------------------|-----------------------------------|
| 三重県 | 株式会社日立システムズ |
| 愛知県 | 山崎製パン株式会社 |
| サンジシ醸造株式会社 | NGF ホールディングス株式会社 |
| 春日井製菓株式会社 | 国分グループ本社株式会社 (KOKUBU GROUP CORP.) |
| 佐藤食品工業株式会社 | 株式会社ミルボン |
| ヤマモリ株式会社 | 株式会社栃本天海堂 |
| 太陽化学株式会社 | タカラベルモント株式会社 |
| 一般財団法人食品分析開発センター SUNATEC | エースコック株式会社 |
| 伊藤忠製糖株式会社 | 財務省 名古屋税関 |
| フジパングループ本社株式会社 | |